

ラーメン店「とんとん」が東京進出

激戦区・早稲田に「福山ラーメンとんとん」をオープン



味で評判の「博多ラーメンとんとん」を福山市内に2店、岡山、倉敷に各1店の計4店舗を展開している(有)吉田フーズ(本店=福山市昭和町10-11、吉田浩二社長、電084・925・3644)は、2月1日、ラーメン激戦区として知られる東京・早稲田に出店した。

店名は本店のある「福山」を前面に打ち出した「福山ラーメン」

東京・早稲田にオープンした「福山ラーメンとんとん」は61㎡。席数は20。店長、電03・3202・5802。店舗面積は61㎡。席数は20。コクのある豚骨スープに細麺の「博多ラーメン」のスタイルだが、「とんとん」の特長である「高菜」を売りに勝負を賭けるといふ。ラーメンは1杯650円。ほかに餃子、ライスなどがあるだけのシンプルなメニュー。

備後特産品研究会の協力で福山PR



福山をPRする店内

また、地元食材を生かした商品の開発を手掛けている備後特産品研究会(福山市御船町1-13-5・(株)中島商店内、中島基晴会長、電084・922・4870、<http://nakataku.com>)の協力を得て店内に福山市や特産品をPRする観光ポスターを貼り、備後餅や保命酒も展示する。開店日には、「龍馬ブーム」を意識し、鞆の浦特産の「保命酒」を使った坂本龍馬の小話が書かれたラベルを貼った「保命玉(ほめたま)」を限定で無料配布し、福山と龍馬と

の関係性をアピールした。松原店長は「早稲田地区は有名店約100店がひしめき合う『超激戦区』だが、どうせ勝負するならば、という気持ちで吉田社長と共に東京進出を決意した。近隣の学生さんや都内在住の方に独特の高菜のラーメンをぜひ楽しんでいただくと共に、福山や広島県出身の方には故郷を懐かしんでいただき、お客様同士で交流の輪が広がれば」と期待を寄せている。

営業時間は午前11時～深夜零時。不定休。